



特
1969
2



於子集卷二目錄

夏部

更衣

風炉茶 付茶摘

毬花

卯花

當麻法子

牡丹

新樹

若楓

桐花

灌佛

千園子

牡丹 付芍藥

付餘花



葵

柑子花 付梅

虫

百合草

竹子

早苗

复草

水鷄

复祭

郭公

蚊 付复虫

樗

五月面 付梅面

端午 付菖蒲 競馬 粽 甲 百草

麻子

持飼 付川狩

靴 付箱

扇子

瓜 茄子 小角豆

复月 付一和酒

夕立

氷室

御後

惟子

蓮花

蟬

祇園舍

雲峯

清水 付泉

納涼 付雜复

捨子集卷第二

更衣

細布も胸やあはせたりるもの
 八丈や袷も綿衣もるれ侍
 ひらけきけしや給合乃衣久
 絹も甚もふ感ふもうちや衣更
 袴や免子君そよの榮れ袷久
 毛と和ある大も急のころ衣久

括列平野住 友安
世耻子 利政
掾真光寺 以尊
原田氏 复半
昭西住 聖善
子列松山 一景

久みりり、袷斗やけりぬ結二
 襦衣乃小袖や頓て貝袷
 衣衣ううとて幾ふや袷たなり
 衣衣裳乃う子兒ものもや衣久
 きかゆるやぬ糸たおもより袷
 ひとくを袷却月一日はあはせし

濃列申氏 正長
武列牛込住 曲友
三川吉田 愚侍
伏見 重尚
肥後住 友閑
丹波山住 清衣
国氏 知之
左列 恭遠

絹わきるふ人のものも

仕立のあはたふ成より行そる衣衣 大坂 正春
けふのちんころる益交ゆる初め 風形子 定重

新樹 付餘必

我道其社きて去るものく思山 江戸西里氏 恭次
作す本ハ多くろ物布衣本立 三河里氏 定連
我道わ取本立平山結く事け 法列 無隣子
桃乃枝そく冠おとくや衣本立 播州兜栗 正林
かす多きそりする若たや衣本立 矢形氏 末次

復かけし餘情らきも去れ 肥前 如自
新田山の餘多や盗人たれ 泉外 霖月
かす本ともかこり出るもの 南都 宗栄
半道にけあまする宿乃海 珍列松坂 山
枝とちとお移したく 窪氏 行貞
夏満くやそて 小山氏 重尚
我道る布南條四百八新樹 播州姫路 秀昌
我道わ取 三川吉田 愚侍
定重を在園下向首途乃序

茶と多と熟先うけく首尾や

佐心子

梅盛

風炉茶 付茶摘

鎌倉

吹拂ふ風炉に茶入のちりり

三河吉

愚侍

榎もくろ香やもくろ香守風炉に

彦所

塵哉

堂にひる茶釜や風炉に記とより

茶

泰次

是も又えく物茶に茶の香匂

三河吉

愚侍

新茶をや茶を云乃字治此里

豫住

玄掞

有る風炉とくも茶をやがし

上有子

政時

字治の茶いつとふ多記各ふ

濱野氏

宗勝

一茶片くえり数事あするこい茶

肥後

金門

あ楓

長山をむむ物いつの如く

佐木氏

道繁

あさけくし屋はく較て本

肥後住

如自

人目おもあひさ楓のちりり

志中住

恭遠

酒てまける坂む楓乃木みけ

石橋氏

重知

やうく有へまのやあ楓

新山氏

益英

必るれやえんよやうー木よみ楓 丸茂氏 利忠

毬花

世は浅見よふもり所免死を浦り 勢列松坂 三信
まんのふあふいふ浦り死てま女 三河音 愚待
花もつぬまら花風のりしる片 勢列 平佳院

桐花

あつれちくほ桐とふ家や花は枝 伏見住 重尚

夏暖やわく免格桐乃花は登 凡起子 定重

卯花

娘垣やそ卯花の雪女 堺住 重利
酒もそ喉志むる卯花を花 勢列松坂 仍信
卯花もの鳥をねーるいり守 江戸赤坂 是計
夕やともえ花卯花月夜 勢列松坂 政信
卯花花と御ふ人や東山 會津 吉成
卯香くと冬か我々 三井氏 近次

と家も卯此自を承れめのこころ花うつ木 嵯峨 子愁
写すくお極る若根卯片本 野良 基春
ふれを咳霖卯乃の花書生る盛 風松子 定重

灌佛

生れたまふ仏を法天子 草尾住 重道
脇がくやうしとをちりて天迦佛 姫路住 一イ
片くく多く佛をける家けれ 三河音 愚待
誕生乃いといひまもく先お書 伊予松山 一景
片き

船内成せる佛や志をうあろり 姫路住 一幸
衆を渡交あつもの太子や由灌佛 井ノ口氏 聖久
灌佛も名をいふ人のあや善悦心 江古 親時
かる佛や穢くかざる生れ片寺 大坂住 友清
摩耶丈人産の紐をやが獨る 風松子 定重

當麻法師

才世於たのまんあや法此寺 伊予松山 一景
大和ふもあらかく縮や禱り世書 一村氏 良三

いづはるすまんとくし稀り世貴 江戸 恭次

千園子

鬼喰とくく集く世ん園子 伏見住 少串氏 良設

鬼乃氣も丸くちれや子園子 伏見 友世

備多や鬼子とくく千園子 姫路住 三春

湯縁の尺廻よま向大や毒く世ん 大津住 不雪

杜あ

あや屋よ花もく有るわ花 江戸大坪氏 高輔

川浪よ花も志やうまきつ 河内石川郡 政公

花よすむる此あ切たつ 少村氏 正則

あ何く紙拂ふ年やま津 大坂住 木刀

沢水もあさむし 和列下市 正倉

牡丹 付芍薬

花ハ葉を呼ぶ和あさ 播列姫路 義知

玉露也早白とみる 小山氏 重尚

桂一晴也 漱也 ありて 謹草

依見

友世

老乃目も志のふ志りや人のふ見

大坂吉田

友清

伝よ伝也 猫のり 鐘か 牡丹

伊左氏

信徳

友すれを位あくるひのたの王

江戸

蝶子

牡丹よ也 猫乃 昼寝も心わて

大坂住

宗清

花筒の件也 色乃 謹草

阿形氏

直録

卯此花也 ちれも是を謹草

田中氏

正元

位もろ大さん小ひる多た乃王

佐見住

正代

別ちまのくた右へらるす和謹草

竹井氏

常久

枝よかまの堀也 牡丹花乃枝

福井氏

宗次

風よ教也 長者ひのたの福草

姫路住

元武

ひのたの風のもや 芍薬

肥後

金門

芍薬此ちる也 下かや 芍薬

伝多野山

胤頼

写し繪此草也 毛きれの謹草

風証子

定重

葵

琴よと記先くやめあひ乃花も蝶

江戸豊村氏

不卜

見んとて和淋し さま宿と立葵

江戸住

泰次

一枝や是花とも記り結たち夢
大坂住 友清
若木の露の降るれ又うぬら夢
月記子 定重

其条

三幅乃止いり人待らん水まらり
岩列松坂 是堅
三寸もくく供由や何事もお山王
草津住 重道
志る玉紙とらひてんかすまらり
南都 行恵
いなり系客や居かろむ此夜
岩列住 成輪
云拍子系客を被やとんとい
桑木住 是壽

夕えりそ世よ唱神乃系うれ
濃列住 塵哉
客ははるる十姓いそん乃系了
伊予松山 一景
よのつらう川斗あふやる世系
一村氏 良三
きいてよ記の古也いり系乳
新山 益次
花はひるる山まらり系少
尾外 兼之
系とく拍やまの片らう海
讃嘉 守静

柑子花 付梅

風はあそく少記の海争く柑子花
肥分 如自

むらり山々 樽子ねまのきやう
大肉をききんあらしに紅緑の乳
宮崎氏 重利

時鳥

又去るも待してもこねやほとれず
まいたる海舟かき守る中よりり時鳥
未代乃船をとりわをそねくまき守
きたりやうにるまひつ有る郭一云
志とれくききき雲井に時鳥

坊所坂本梅子寺

圓的

重利

姫路

一子

坂本住

俊盈

武列西四氏

恭次

大坂系

貞因

藩列定栗

正林

ふまそわや耳つえつーしほとれず
ふまそくすー鳴ん下和の郭一云
何それの目まてあふつ時鳥
とらる秋よあてもみや時鳥
月いなか中もちそはくや時鳥
きんこまのまつてわら持よ時鳥
あませねわ口小戸山能ほくか守
すすらうて孫きもせわの郭一云
あまりあわかこく海あふまけし時鳥

大坂板屋氏

貞富

中尾氏

仲之

尾列名古屋

良昌

江戸住

林麻

風起子

定重

佐々木氏

道繁

坊列松坂

三信

坊列吉産

狂記

大坂住若林

良久

一度もけまら侍言我はほくま

三川吉田

愚侍

由よとく志くくふはけくはくま

加列金次

因元

侍人城をくくくく名や省まき

江戸上野

枕友

時をきりちり秘する山はくま

姫路小川氏

元武

人乃口まきわきくや郭云

松列松坂

知宜

あ山やうろくきま時を

吉見氏

忠次

あふんそく鬼畜りくまよ香

播列勝平

栄武

あ古も晁まなりしほくま

山口氏

栄之

あやせわわ出よりりおる郭云

姫路松坂

棒心

時をきりほくまはまき白り那

原田氏

政時

時をきりぬ時をく時めをくま

濃列住

慶哉

出入乃息おひよるけほくま

濃列氏

宗勝

時をきりぬまきと人と古く

肥前住

素質

一あやや天候くくはくま

菊野氏

貞盛

本まきやうけてわらぬ時のを

松列松坂

弥笑

よかきやうれとれはくま

大坂住

清次

名のれくたき名よられぬ蜀魂

一村氏

良三

あやうあき戸いたくおひくま

三井氏

近次

西行谷万句小

山差や二度比丘尼おのほりき

勢列松坂

加友

夕夕そききまじのくれとなくふ

江戸松坂氏

朝貞

郭云一孝の二世の孫ひくれ

阿形氏

直余

ひと孝の孫ひくれのけり

稱好氏

慈敬

こさめ成さひひのそを初孫が

お村氏

正則

時をなき露くびの孝もり那

芝堂住

愚鈍

お中よ君う揚屋守るう郭云

松坂住竹内

政信

お高うけと佛壇よりうり子親女

矢作氏

末次

と一孝とらんよくとらん郭云

勢列律

直政

孝のいつた目で人化ふほと孝

南都住

政令

常孝やまきくく出する時を

福井氏

宗次

長うけとりや中孝の孫時を

大坂住

宗清

孝のけと礎ととも山に郭云

懷惠新

離雲

一孝の不可均心おほくま子

勢列池田住

利忠

孝を孫くまきや孝の孫時を

石橋氏

重知

一孝のいとけてまきあや郭云

阿形氏

直余

志家とくと云繁多うれほり守

肥後住

金門

小軍よハ幸なる菅原家ノ時多 風船子 定重

一多きそ武蔵流と香多 江戸 恭次

月ふる多し水好くハ昼に射 大坂住 如在

一多うや法花の念佛か 草津 貞富

とあ人もや多きうハ北耳 窪氏 重道

一多うも待時 小山年 行貞

名少ハおろ茶元人 常為 重尚

天よ口なる 加列住 因元

志の 大坂 貞因

たふ称 岨崎住 子愁

恋志 播磨栗生 直申

何 直申

此 梅盛

螢

螢と稱 大坂住 良久

そ 播磨栗 正之

あ 貞富

高書とててひとる家相すれ云
 宇治や東園及ひし一へと云
 其乃相そそふ火乃れき虫
 月そ水知れそあすや
 川よそぬ火とふこあ能
 彩よとあるほこぬる光
 昼ハ火蜜あふ日之乃
 螢火そ何城まんのほむら

毛列谷門住 幸庵
小曾氏 重
西列村山氏 政勝
大坂住 清次
窪氏 行真
阿形氏 直余
江右林氏 重信
高野山 紅錦
松本氏 光之

佛とて光城とる川
 虫と火とたぐぬ
 昼ハ螢 相つハひさると云
 油家

大坂住 幸延
江戸家千氏 利重
堺住 油家

蚊 付 其 虫

目さあすそ何とさ
 鼻所くもさるわそ
 うたあはは蚊をひれうへ乃
 物基るうてさす蚊をあて
 蒼糸小のたさ蚊う蠅や古

姫路住 一才
寄列松坂住 三信
姫路 棒心子
伊予松 宗利
加加合 直次

鬼子多たりし百合花の玉
花見酒。酔て目やう家車百合
善の奴とく家ゆりし見物
をわきてのそけ猿戸乃車百合
鬼百合も風よけつていふ
姫百合。執心かた家。蛇乃。カ
おと宿百合の花や見ゆふおき
坊

標

つくしや久即是空雲見草
教之長い何とせんあんそ若
坊

竹子

おらまてや本も子もれき園竹
切とあやうとれりお親子竹
ぬす人をそへてうてたけら子
大名竹志けるる教や教隣
おらせぬ竹子たるある

坊

友仁子

義知

真就

宗勝

元真

若昌

定重

三信

成遠

林高

恭次

葉政

愚侍

成遠

竹の子もできず味噌汁の料理
生とゆりあふやゆ記乃お甚行
加列金次 凡誓子 因元 定重

五月雨 付梅雨

五月雨やこころをなごもつづく
大塚若林 良久

天乃戸と雨戸とてらや五月雨
肥後松平 季子昭

五月雨は大小りるれやをとの袖
江戸橋子 貞宣

五月雨は菽乃月や棹此川
肥後松平 政家

五月雨や重井れりとのあまりあ
石丸吉忠氏 良政

五月雨は菽とるすれ竹のひき
吉那住 仁禿

五月雨はひきくやうき五月雨
窪氏 行真

五月雨は開ハ梅ハの物あり
惣外伴住 一友

水色この月とやみえんさ月園
桂松氏 重次

長るやへのゆえきれの大あひ
三井氏 近次

五月雨は陰五月雨や終乃口
月記子 定重

早苗

神代より植る中田地開百姓
姫路林氏 棒心子

西成待て梅田さうとりよふ氏、乳
三川吉田 愚侍
 うへに候そぢごもさた田社お苗、
具弘子 定重
 市とと先や於田いしれぬて、音強よ
世耻子 利政
姫路吉田氏
 ひとと持荷苗と云てうへ田、手乳
大坂 利重
 早苗張そり、和うへん、徳富はそ
姫路住 如森
 兼登てうたふ、おる、田、音、乳
一才

端午

付 菖蒲 競る
粽 甲 百草

とも、乳、和、白、羽、乃、矢、程、と、く、人、る
坂本住 俊盈

家、う、海、を、く、市、免、る、や、足、搦
河内平野 友安
 見、ふ、み、も、競、る、と、た、よ、野、子、付
田中氏 一元
 ま、け、し、お、と、ら、ち、社、内、を、競、る、ゆ
伊与中松氏 宗利
石橋氏 重知
 了、れ、く、お、け、る、る、回、道、乃、け、い、え、乳
姫路要氏 一幸
 足、搦、お、け、る、を、世、免、一、神、る、乳
一持氏 良三
 ち、の、や、い、の、と、成、也、鴨、社、お、一、搦

廻文

中、字、以下、見、の、こ、は、け、身、競、る、ゆ
福井氏 宗次
 菖、蒲、刀、比、を、六、日、と、う、の、礼、儀、乳
丸屋氏 忠俊

廣き波よりあめりあらしと見て

大ぬまれ河てあゆむるまゝのゆゆ 窪氏 行貞

たんと香そそふ例地といふ菖蒲酒 乃孫村住 貞健

菖蒲とて敵みゆくの地の 佐木 俊安

ゆの家根や菖蒲のくまに帰す角 佐藤片上 在貞

新腰よりゆと大小ふかしの 大塚住 清次

ゆはるに水乃菖蒲やまゝ力 世孫子 利政

くみいよふ新乃菖蒲やうてに 清水氏 愚心

ゆそ喰いよふせわ口の 津田氏 政祖

かきみよ町まらゆき此いよひ 小山氏 重高

それゆきの乃けりゆと出ても礼後 金谷氏 友光

喰ゆゆいまげにまゝに乃祝手那 草津住 正盛

ゆゆい雲城とけいのゆゆ 武列西器氏 恭久

ゆゆきてたやふ家世が家氏百草 伊予中松氏 宗利

ゆゆきてゆゆ百草梅雨よ草草 紀房 一入子

糍ちうてくく残もゆゆゆの餅 山田氏 栄之

おぼあう一さんよけしき 松本氏 光之

ゆゆあは里のみよゆては里人もゆゆ

こぼれて海老の糸は老翁袖とつらねる
蓬首蒲扇根より草葉糸糸
侘心子 梅盛

其草

花見見そく石竹能待奇少
凡船子 定重
比手うけるさ布満きうり鉄仙花
肥後屋 金門
と氣込付くみと人冬乃必はちり
江列住 春山
すけと又たぐと虫や肢の内
江戸住 柴庵
釣乃るるいも不露花子乃留少
大坂住 木也

花乃鳥よあけ海に飛すいりつる
窪氏 行貞
夕鳥れちど老るはるやひ移り贅
加列井尾氏 正一
夕鳥やなうめーるるそ乳はのま
中山氏 勿言子
葉ともしやすこあうひさひりる
肥後住 金門
花乃鳥も老るびり人柱をおひは
伊与松山 安重
露乃布石能行田乃半黄圓
尾列名古屋 一景
露乃布石能行田乃半黄圓
熊野石舎氏 昌徳
あけとる布盛り不ほお母を酒
三井氏 任他子
一八のちよ四五月乃時分乳
三井氏 近次

一八八二念の跡ふ花見系那

江戸住 林廉

をく流し草や眼皮のしつまい毛

三河吉田 愚侍

こゑせねとやとるをわくちりひきこ

大坂住 菖昌

其臺乃物も系かうけの金浪心

赤尾氏 重宗

ゆすまはる風乃をちりし金浪心

愚心子 正勝

お乃ちりか接子れりる露もはち

姫路 政次

双六の筒り若もゆよひの作

津田氏 政祖

ちりす露も風乃をちり露もはち

坂本矢野 寛壽

花の陰ときとれんよ石れ竹第

淀住 之舊

夕鳥成扇よ虫もこい絵系乳

伊与松山

宗利

花乃香もあせりんため蚊帳系

南野久伯

及任

一八や花又りよ免りれ花巻

奥列貞住

雨云

さげんわりあ目もはち金浪心

志列中村

同

かのこまたらうな所くわけの花衣

駿列幸休

恭遠

花乃細し只張る露も者一袋

三神山

不珍

露成葉よのす家長刀がくも

凡弘子

枝應

毎すりけよ摘むる道乃葉葉心

南都

定重

喰で人よ喰けのたけを野まひ

襲屋

襲屋

河をのれとむい波乃うららき乳 尾列 之也

掃地一くいかう骨おらる花見 田中氏 正元

けいしん 濃列大垣伊豆 實直

菱を物神とけいしん 播列完栗 正信

福やぬいこふけはららう 依見慶雲氏 南校

ふの成よ 畏氏 成意

あらはの成あらふさ 大坂吉田氏 友清

其いる 江戸井田氏 秀乃長

そよもいら 江戸住 定加

お不動 小山氏 重尚

浦ん 尾列各古名 寛勝

水練 姫路 一子

麻子

富士根乃 尾松子 定重

狐火の家と猫跡乃 江戸 笑子

水鶏

寺次乃月や、あ鶴たなき侍
伊勢山田 菅氏 慈之
鶴除名や、くはるくまはるけといふ
菅氏 行貞
くくくはる内いといふ、果成といふ
月形子 定重

鶴洞 付川鶴

手やうして、夷瀬胸乃火鶴洞伊勢山田 武珍
鶴舟漕や、殺生紙いとれ、その上
姫路系氏 三仍
いれかても、鶴と河とくまはるい、いさい、
南都 照龍
見深ゆる、鶴の目か、魚の、洞の、
姫路 市友

あはるく、一我、神いひ、川、
穴窪氏 行貞
真社名、小、一、追川、狩の、あ、その、
三井氏 近次
鶴洞、く、人、を、川、瀬、乃、鶴、
中井氏 忠幸

鶴 付箱

鶴、乃、す、き、海、わ、く、瀬、て、
江戸 恭次
子、川、乃、瀬、川、あ、る、る、
大坂 友清
よ、く、る、れ、く、る、川、く、
大坂 正納
河、清、よ、る、る、く、あ、
巖井 正令

孫容乃く座まゝ侍り候へ之類 三井氏 近沙
大まき暖縁うほ暖縁をらり新暖 風松子 定重

帷子

布引也漆乃かうれ結持はし 大坂 親房
夏乃日ハせんかひひく此暑さ 竹井氏 常久
杉さあひの吾家かひひく也ち守 姫路甚官系 秀昌
卯月とるに家了あひの用 風松子 定重

扇

鴉尔書も目形内涼一武者扇 江戸地由 蝶子
かふ目もやぬけくも志し扇武者扇 大坂豊平 義統
あひれりるよりり 伊与松山 宗利
風縁て本成くこや中あふき 加列金沢 目元
扇もす武者繪も神の志人 大坂住 貞則
移やす紙巾一綾二綾之扇子 肥後大田氏 貞由
風のもとり 伊豆國 在坊

六月 奉^{本谷川氏}の御もあつて乃扇^{一元}の乳
 骨^{伊若氏}成^{信德}るのやゆ人林^{志列}達^{恭彦}よ折^{肥後経年}あ^{去辰}ぬ
 かしら^{田中氏}のま^{正元}やゆ^{重嘉}の扇^{政昌}や^{西云}あ^同ぬ
 お^{奥列貞}も^{重嘉}のあ^{政昌}め^{西云}あ^同ぬ眼^同乃^同あ^同ぬ扇^同の乳^同
 かせ^同乃^同あ^同ぬや^同は^同は^同る^同の^同相^同子^同乃^同舞^同扇^同
 風^同流^同い^同あ^同へ^同き^同う^同せ^同ぬ^同う^同ち^同は^同う^同乳^同
 風^同成^同ゆ^同一^同懸^同き^同も^同そ^同ふ^同扇^同の^同
 う^同ら^同は^同と^同や^同一^同季^同の^同回^同前^同れ^同由^同者^同扇^同
 骨^同の^同も^同た^同六^同十^同一^同卒^同乃^同あ^同ぬ^同ま^同き^同り^同

蓮花

風^{肥後経年}の^{金門}流^{松平氏}る^{光之}も^{光之}あ^{光之}る^{光之}も^{光之}ら^{光之}す^{光之}や^{光之}花^{光之}の^{光之}流^{光之}乃^{光之}系^{光之}
 白^{光之}流^{光之}もの^{光之}を^{光之}似^{光之}し^{光之}う^{光之}の^{光之}き^{光之}を^{光之}蓮^{光之}花^{光之}の^{光之}
 草^{光之}乃^{光之}流^{光之}る^{光之}七^{光之}寶^{光之}庄^{光之}殿^{光之}の^{光之}ま^{光之}を^{光之}葉^{光之}
 十^{光之}れ^{光之}草^{光之}花^{光之}ひ^{光之}く^{光之}く^{光之}や^{光之}幸^{光之}れ^{光之}ま^{光之}を^{光之}葉^{光之}
 均^{光之}れ^{光之}ぬ^{光之}け^{光之}は^{光之}ま^{光之}を^{光之}ま^{光之}ん^{光之}も^{光之}れ^{光之}あ^{光之}る^{光之}一^{光之}の^{光之}
 身^{光之}向^{光之}回^{光之}向^{光之}な^{光之}り^{光之}や^{光之}三^{光之}由^{光之}家^{光之}あ^{光之}る^{光之}蓮^{光之}花^{光之}
 見^{光之}あ^{光之}る^{光之}清^{光之}人^{光之}最^{光之}江^{光之}列^{光之}や^{光之}ま^{光之}を^{光之}あ^{光之}る^{光之}乃^{光之}り^{光之}す^{光之}

肥後経年 金門 松平氏 光之 播磨完栗 常葉 志空 三筋吉田 愚信 播磨根路 義知 小山氏 重尚

見ゆき言はよのくちりんあ 江戸住 重信
咲花をけふもらすいのねんが 凡形子 定重

瓜 茄子 小角豆

けつやひきあふれん瓜の片 大塚住 是等
鬼のけの人のいふ家約乃瓜 賀金沢 周元
紫の瓜のこ家すいころわ忘瓜 松列松坂 交友
咲花よ思ひはく毎濃き瓜の乳 江戸住 不印
かゝ瓜のあ海はのちゆか風味の乳 紀列松坂 入子

まのちまきまのち姫瓜やおま 姫路 三吉
あやせやふらふら瓜せ瓜のち 真列自舟 高云
鳴きせまふまのち瓜のち 三河 定連
ひきころわ三の瓜のち瓜 福井氏 宗次
ちりちりてはる瓜のち 下巻 台澄
かま瓜やけらるる瓜のち 活名氏 能久
そく判をちりちりし瓜 吉見氏 忠次
日よりわちちりちり瓜 肥後氏 資重
あ人の下れ舞の茶畑乃瓜 越前山住 勝久

愼あつち鬼も十八のけあへ
角と白成ー虫成のあすのけ
山
松坂屋
江戸上冊
枕友

蟬

身とらめまる思ひ必た少蟬は
布敷の河集と流と流乃蟬の経
じしを和向きわれは流蟬の寄
三の和翠今是三女老別蟬の経
流やうけもわあうのせも
井口氏
重久
姫路三木氏
之利
小山氏
重尚
備前氏
正信
但馬生
安秀

わけゆちをらすう目と蟬乃
安やうや蟬吟まうく流と寄
吟
正長
一才

夏月 廿一重酒

其乃和の人結る月れ戸口系那
くまられまれくのさやとけし其の
やいおよわもしそののまら
涼きまつそし出いっ月乃乃あね
西と流し和あまもわうや夏月
江戸住
林麻
姫路氏
貞吉
大坂住
若昌
濃別森氏
定則
大坂住
未正

其乃松林月夕花火乃氣孔
香々解つよとわつ二河一和酒
麴もや寝はせく作ふ一和酒

大坂住

清次

姫路松村氏

去房

月形子

定重

祇園會

月、船より乳や二海洋乃徳
時去々わ都乃老や祇園の徳
山青く山白く祇園は乃具
一園乃二とと洋や祇園乃舎

上有子

政時

大坂住

貞由

江戸豊利氏

平卜

福井氏

宗次

祇園會ふ祇園名や祇園を此男山
眼輝乃柱ハ多んきりまん本
菊輝ハ花乃都此の此まの乳
舟針ハ杖片く供や老乃波
本よ竹成片くも多品つや
人乃あ、海山科よのや祇園此會

大坂住

貞富

此山

子然

津田氏

政祖

三井氏

近次

小森氏

一之

幸列中村

恭喜

御樂あひり

あひり、祇園精舎此御樂

山口氏

栄之

夕立

吹風乃まき夕立北早らり

四牛氏

義純

白面や長刀たき香藁而原

延時長治住

一入子

夕立巾ぬ中もきぬ衣川

和列那山住

宗休

夕立浅岸すくくけく回西

三河音

愚侍

夕立乃りる巾ぬけ丸あらし

江戸鱈子

貞宣

白面を辻を巾ぬけ破半笠

松平氏

光之

雲山字

天と地のあいの山外雪雨此嶺

江戸住之氏

慶賀

雨と云又字やいたくく雲乃峯

伊与松山

家平

山傍の家と云く

雲乃峯甚道草花徳の穴寺

窪氏

巳安

育と云く事や化物雲乃嶺

新山氏

益英

氷室

暑家多きハ理のこじたる氷室江戸
多社平と足ハいふ魚子氷室惣列松坂
すしはもりふらう海子や日よ氷長谷川氏
一元

清水付泉

ウミと出ル泉や水社座ら大坂住
木刀

車園と向

旅人の足がらひやす伊豆之孔与列松山
系るくしてくみしやハ清水阿形氏
直余

極はたさハ山くく日まき清水凡松子
多ん天小清水しやふ乃神も横外西五百住
結ひぬれ清水も勅乃符桂松氏
道入

御後

意せしや、録する言れし人至乳三井氏
中らそふハ日なとも乃ふや三十濃列大垣
塵あく大掃ひしやめよ水後川江戸住
木端
恭次

納涼 付 雜復

毎夏これだけ格もくれあふ月相 嘉隆

毎夏これだけ格もくれあふ月相

あつたおと水乃守さ布の茶あふ 道之

ぬれはくろまわて野なる汗ぬく 安重

今三んと夕涼もやよぬ乃との 茂栄

川急いよく

雨より床乃とくろや夕涼も 真命

乾坤やのれふ風乃香具袋 三信

け夏あひとぬいぬいあひさ 宗悦

鶴乃女あふふ乃其は雲 如自

海月とる人猿猴のままね 利方

くへい河いよ所くや記け小麦粉 友清

買て吟や後あつた守とこころん 正長

を列いづむや掌ふゆあてらん 是望

かほる風そく大将あ乃咳あひ 可夕

風あふていすすまきくわ暑さ 林廉

大坂屋敷氏

内海氏

松橋氏

阿波氏

路列松坂

之乃氏

肥前

備後三原

大坂吉田氏

勢列松坂

松坂住

伊予小松住

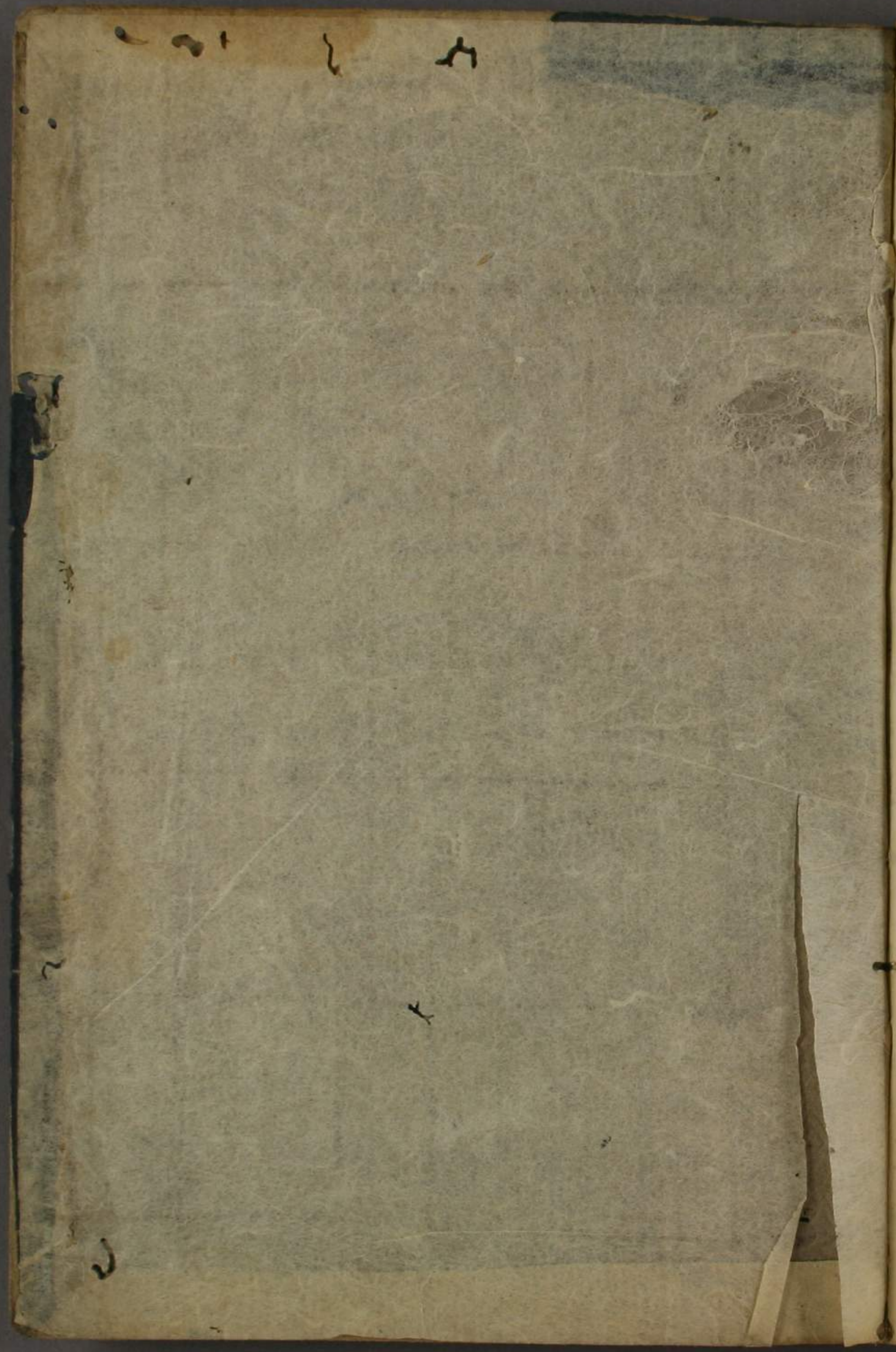
江戸住

仕舞くハ蝶や晝寝れとこよ花南住久宿 及仕
 撥むいふわがる名やあけ蟹の夜福井氏 宗次
 花よとく流るをまて柘榴つふ真列白川 雨云
 菩薩やまの向ふふの摩訶福好新 慈敬
 今は方小咲く風乃ながき結花肥後安住
 伯父も甥も健ひまきおびく子進左氏 世耻
 す一桶乃をぶも本あるくわさ伊若氏 信徳
 諸國より小産頭のちれ凍るれ目羽子 定重
 あり神乃軍を目羽子 政成

二二五

暖海川端正合無行乃
 序

よれ山へあけ和ゆつる嵐山信心子 梅盛
 きてゆつと故と道つれの甚も同



11 月 11 日

松本 藩 御 用 書 札

...

